

1 聴覚障害のある幼児の生活と学びを豊かにする支援

(1) 見て分かる環境づくり

聴覚障害のある幼児は、音声を聞いてその場の状況を判断することや、行動に移すことが難しい。そのため、目で見てすぐに分かる環境を作る必要がある。その際には、幼児が自分の行動に自信を持ち、安心して生活できることが大切である。

そのためには、教師は幼児と話す際には、幼児と視線が合うようにかがむなど、姿勢を低くしたり、教材がある場合にはどのようなものか丁寧に提示したりして、見て安心できる状況を作る必要がある。身振りや手話を使って話をする際には、表情を豊かにしたり、話が伝わりやすいように実際の物や写真、絵カードを併用して活用したりするなど、幼児の見る力を生かして分かりやすく安心して生活できる環境を作る必要がある。

聴覚障害特別支援学校では、放送は字幕が流れる電光掲示板を使ったり、チャイムはライトを光らせたりして、見る力を使って情報が得られる環境を整えている。教室は、ドアを閉めることなく、常に開けた状態にしており、誰でも授業の様子がすぐに見られるようにしている。

また、座席の配置においては、半円型を作り、友達や教師と視線を合わせて話ができるよう配慮している。

(2) 体験活動の工夫

幼稚部では、季節の行事や買い物などの実生活に即した様々な体験活動を日課に位置づけている。体験活動では、見る力の他に、五感を体全体で感じられるような場面を設定している。例えば、調理体験では、作りたい料理が決まったら、まずは必要なものは何かを自分で考える。そして、友達と協働で作る料理を決めてどんな食材が必要かを話し合いながら実際に買い物へ行き、調理を始める。食材を触った感触や、完成した料理の香りや味わう体験など、様々な要素を含んだ体験を行う。

体験活動は、自ら考え、判断する場面や、友達と協力し合う場面、幼児期で大切な五感で感じる場面など、様々な場面を設定できる。

(3) 言語概念の形成

幼稚部においては、身振りや手話を使ってのコミュニケーションを大切に、日本語を遊びや生活の中で日常的に学べるようにしている。例えば、季節感のある物や、幼児が好きな食べ物を実物と合わせて文字表記をして、自然と目に入りやすい場所に展示している。また、日々、言葉遊びや絵日記に取り組み、日常生活の中で身近に文字や言葉にふれられるような環境の工夫をしている。

(4) 豊かな心と言葉の育成

教師は、幼児が遊びを中心とした生活の中で、五感を働かせたり、自ら考えたりする力を日々積み重ねられるよう常に環境の工夫を行う必要がある。日常生活全般を通して、様々な環境において幼児同士で身振りや手話を使ってコミュニケーションが図られる場面を積極的に設け、幼児同士での話し合いを大切に、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを受け入れる経験を深められるよう支援する必要がある。

「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」など、伝え方の手順を丁寧に説明することや、話す時にはできるだけ実物を提示し、言葉と物を結び付けることなど、言葉や文字の理解を深められるようにしている。

自分の気持ちを相手に伝えることが難しい時には、教師が間に入り、その場の状況に応じた伝え方や適切な言葉遣いを支援し、幼児同士が関わりを深められるようにしている。

また、友達と話すなどの直接的な関わりの他に、日常的に行っている絵本の読み聞かせなど、間接的にコミュニケーションを学ぶ場面を設定している。人には喜怒哀楽があり、話す際にはそのような気持ちを加味して話す必要があるなど、様々な角度から言葉に触れる機会を作っている。

2 聴覚障害のある幼児への支援や配慮の工夫例

(1) 安全



①②廊下の曲がり角や階段の踊り場にはミラーを設置し、事故そのものを防止すると共に日頃から危険を回避する意識がもてるようにしている。

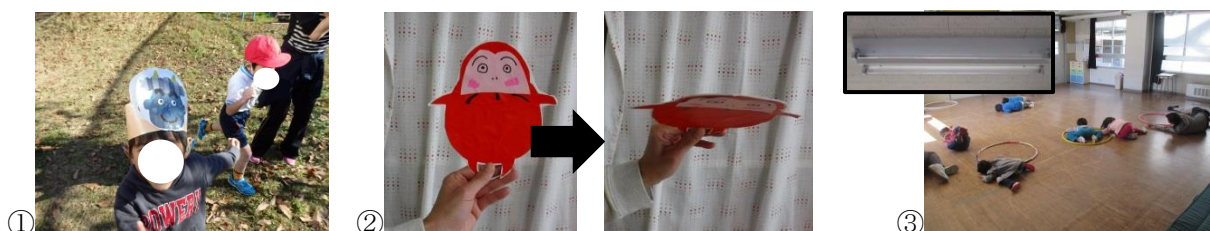
③④園庭は、幼児同士が遊んでいる最中にぶつかることの防止や、緊急時の避難がしやすいこと、幼児全員の行動を教師が把握しやすいことを目的として視界を遮るような障害物は置かないようにしている。

(2) 見て分かる環境（配置などの工夫）



①②③④話したり遊んだりするときは、常に対面で教師や友達の手話や口形が見えるように、椅子や机の配置を工夫する。⑤⑥逆光にならないよう、場合に応じてカーテンを引く、立ち位置を配慮するなど、互いに見て伝え合えるような工夫をしている。

(3) 見て分かる環境（道具やルールなどの工夫）



①②例えば「鬼ごっこ」では鬼が替わったことが声だけでなく見ても分かるようにお面を使ったり、「だるまさんが転んだ」では言い終わりが分かるように作った人形を使ったりして、誰もが見て分かるように工夫している。③歌い終わりや活動の切り替わり、集まりを知らせたい時など、電気を消して合図にする工夫もしている。

(4) 音を知る・聞きやすくする



①②チャイムが鳴る時はランプが点いたり、放送は電光掲示板でも流れたりと見て分かる設備を整えている。③④⑤⑥楽器や機械などには、音に代わって見て分かるようテープを取り付けたり、旗を使ったりするなどの工夫をしている。⑦聞きやすい環境作りのために、椅子やテーブルの下にテニスボールをつけて引きずり音などの雑音を減らすこともしている。

(5) 補装具など



それぞれの幼児の聞こえに合わせて補聴器や人工内耳を装用する。電池や聞こえのチェックも随時行う。また、FM補聴システムという補聴器や人工内耳と一緒に利用することで聞こえにくい環境をより聞こえやすい環境にする装置を使う幼児もいる。

(6) 教材・教具 (生活の中で)

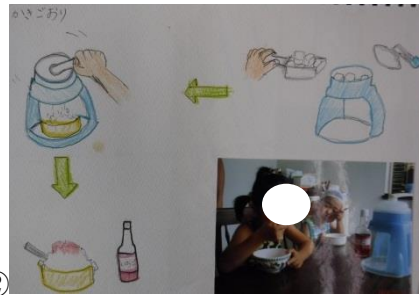


①②③④⑤廊下や教室の壁には、行事や季節の中で学ぶ言葉などを指文字、日本語、絵で掲示する。クイズ形式にして、楽しく興味をもてるよう工夫をしている。⑥⑦⑧生活の中でよく使う手遊びの歌詞カードを作ったり、あいさつを文字で掲示したりして、聞こえにくくても視覚的情報を多くすることで生活言語やマナーなどを覚えられるよう配慮している。⑨過去、未来など抽象的なこともできるだけ視覚的に学べるよう掲示物の工夫もしている。⑩お誕生会などの行事で幼児が司会をする時には、言葉だけでなく絵や手話も意識できるような掲示にしている。

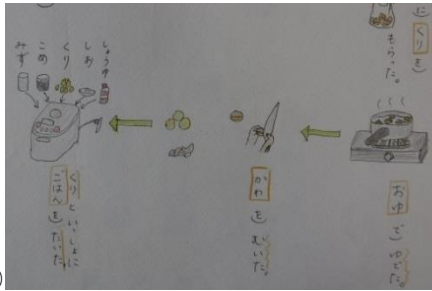
(7) 教材・教具（個別指導の中で）



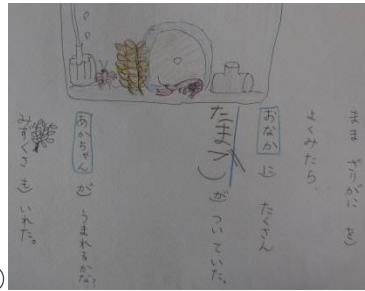
①



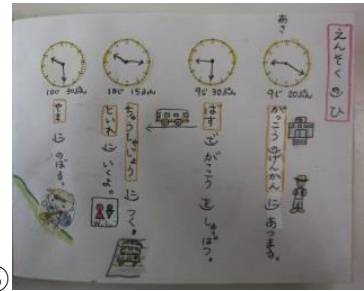
②



③



④



⑤

幼児それぞれの課題に合わせた教材・教具を使っている。音の聞き分け、発声・発音、手話、日本語、絵での表現などあらゆる方法でコミュニケーション力を伸ばすための学習を行っている。①音の聞き分けにはCDや絵カードなどを使う。②③④年齢や発達の課題によって、絵日記を保護者と一緒に描くこともある。状況の変化を丁寧に言葉に置き換えたり、助詞や形容詞などを指導したり、幼児が初期に日本語を覚えるきっかけを作ったりしている。保護者と幼児とのコミュニケーションをねらいにしている。⑤遠足のしおりは、時間の流れや「いつ、どこ、だれ」などを視覚的に学べるよう配慮しながら幼児と一緒に作っている。

(8) 電光掲示板



主に緊急を要する校内放送などを文字情報でも得られるようにしている。

3 聴覚障害特別支援学校幼稚部の日課表例

時間	月	火	水	木	金
9:15	登校・身支度				
9:30	遊び (園庭・室内遊びなど)				
11:30	学年・学級活動 (製作・リズム遊びなど)				
12:15	給食準備・給食 ・歯磨き・片付け				
13:10	下校準備				
13:30	帰りの会・下校				
14:30	個別活動		個別活動		

【日課表上における活動について】

①遊び

- ・様々な体験ができるよう遊びを1日の生活の中に取り入れる。
 - ・異年齢集団での遊びを大切にする。
 - ・幼児が主体的な遊びを展開できるよう環境を工夫する。
- <主な遊びの例>
泥・砂遊び、運動遊び、ルールのある遊び

②学年活動

- ・同年齢集団での関わりが深められるよう活動を工夫する。
- <主な活動例>
製作や劇遊び、ルールのある遊び、体づくり

③行事

- ・季節などの行事を通して、様々な体験をする。
- <主な行事の例>七夕、歓迎会、遠足、保育園などとの交流

④個別活動

- ・必要に応じて幼児の課題や学びを考慮した活動を実施する。
- <主な個別活動の例>
文字や数、野菜や昆虫、乗り物などの概念、絵本・製作

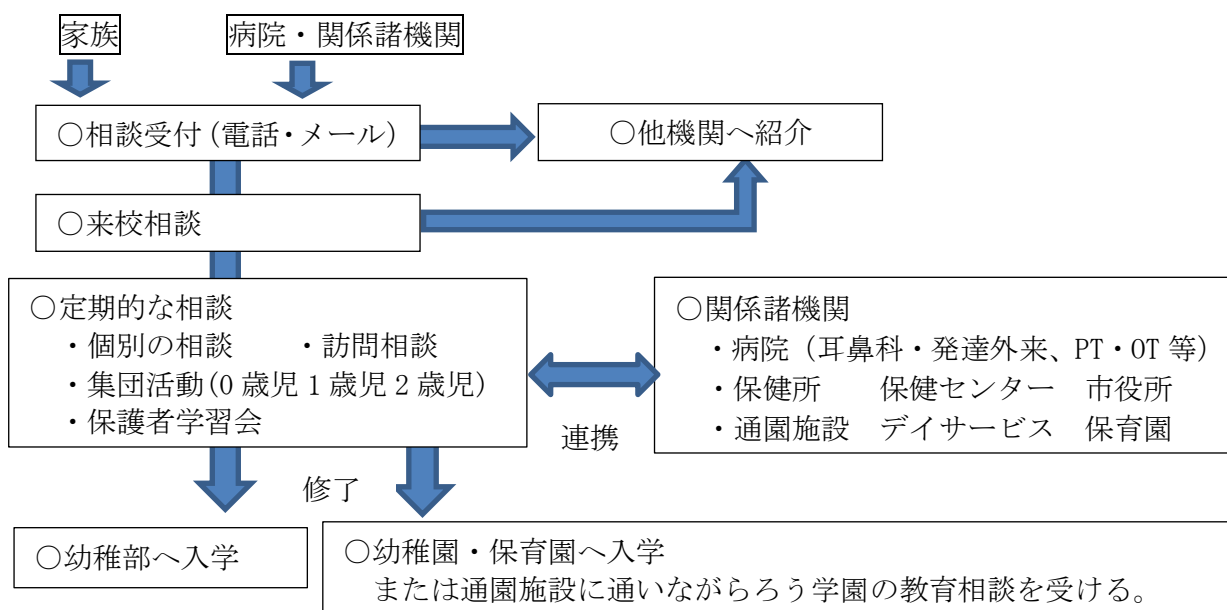
4 聴覚障害のある幼児の保護者支援の実際

- (1) 保護者の気持ちを受け止め、一緒に子供に向き合えるよう寄り添う。保護者は迷ったり悩んだりするなど、様々な気持ちや思いを抱えながら子育てをしている。そのような保護者の気持ちや思いをしっかりと受け止め、家庭での様子、保護者の不安や願いなどを丁寧に聞き、子供のこれからの成長について保護者と共に前向きに考えていけるよう支援する。
- (2) 学校生活での様子やねらいについて、保護者に理解してもらうよう丁寧に話をする。共通のコミュニケーション手段となる手話に関しては、手話学習会を行うなどして保護者への周知、理解に努める。
- (3) 医療機関や幼稚園、保育園、通園施設等、関係諸機関と連携しながら、保護者と共に、子供の実態把握、課題、配慮など、共通理解に努める。
- (4) 保護者学習会の主な例

期日	内容
5月24日(水)	手話勉強会(子供や教師の手話ネームについて)
6月2日(金)	手話勉強会(天気、オノマトペの表現)
7月13日(木)	聞こえについて(聴覚支援部の教師友達による難聴体験等)
9月20日(水)	手話勉強会(紙芝居をしよう)
9月26日(火)	兄弟支援について(ろう教師の体験談より)
11月20日(月)	小学部生活について(小学部主事の話)
11月28日(火)	社会人経験・子育て経験について(ろう教師の体験談より)
12月20日(水)	手話勉強会(年末年始、干支の表現)
1月30日(火)	手話勉強会(アルファベット、節分、インフルエンザの表現)
2月22日(木)	自分の子育ての方法、工夫について(本校保護者の体験談より)
3月8日(木)	手話勉強会(やりとりしよう)

5 早期教育相談

- (1) 乳幼児教育相談の対象は、聴覚障害のある乳幼児とその保護者(家族)である。聴覚障害のあると診断され、医療機関などから紹介された乳幼児に対し、速やかに相談・支援を開始する。近年は新生児聴覚スクリーニングが普及し、0歳から開始することが多い。また、新生児スクリーニングを受け、確定診断前の不安な保護者に対しても要望があれば、適切な診断機関を紹介するなど相談を行う場合もある。
- (2) 乳幼児教育相談の流れ



- (3) 乳幼児教育相談で大切にしていること
- ①保護者支援のあり方を検討し、充実を図る。
 - ②視覚的な手段を大切にしたコミュニケーションに努める。
 - ③乳幼児一人一人の特性に応じた保育・相談活動に努める。
 - ④快適な聞こえについて相談する。
 - ⑤他機関との連携を図る。
- (4) 乳幼児教育相談の内容
- ①保護者に対する内容
 - ア 聴覚に関すること（聞こえにくさの理解、補聴器・人工内耳）
 - イ 乳幼児の全面的な発達を促す内容
 - ウ コミュニケーションや手話に関すること
 - エ 視覚的手段に関すること（写真・実物・絵の活用など）
 - オ 福祉に関すること
 - カ 家庭生活、育児に関すること
 - ②乳幼児に対する内容
 - ア 生活・遊びなど、全面的な発達を促す内容
 - イ コミュニケーション（楽しく分かり合える手段・工夫・言語の基礎）
 - ウ 聴力測定・補聴器の調整など、聴覚の活用に関すること
- (5) 諸機関との連携
- 病院では、難聴と診断すると療育機関を紹介する。県内には聴覚障害特別支援学校の他に、難聴児通園施設が1箇所、聴能訓練機関が2箇所ある。病院でも少数の対応ではあるが、補聴器外来や言語訓練室を設け、療育を行っている。学校は、保護者が機関を選択、変更、移行する時につなぎ役として、乳幼児や保護者にとって長期的な展望に立った最適な環境を提供できるよう努めている。
- (6) センターの機能に関する事業
- ①難聴児早期発見連絡会議

通学区域内の保健所や、保健センターの保健師を対象とした理解啓発に向けた幼稚部教育の概要説明を含めた保育見学会、乳幼児教育相談の内容報告、聞こえにくさの体験、聴力検査室を中心とした施設の案内、耳鼻科医師による講演を行っている。
 - ②難聴乳幼児諸機関担当者会

県内にある難聴乳幼児の医療や、療育、教育などの11の機関が年3回会合し、難聴乳幼児に関係する事例の報告や情報交換を行っている。
 - ③公開講座（支援部主催）

保育園、通園施設などを対象に難聴乳幼児に対する支援方法などの理解啓発や手話に係る講座を開いている。
 - ④訪問相談

現在、相談中のお子さんが通っている療育機関及び保育園を訪問し、難聴理解のための支援を行っている。

保護者に限らず、保育関係者、病院、施設関係者からの相談も受け付けております。聞こえ方や子育てに関する相談は、下記までお気軽にご相談ください。

特別支援学校大宮ろう学園幼稚部 教育相談

電話 048(663)7525 Fax 048(660)1906

Mail sien@ohmiya-sd.spec.ed.jp URL <http://www.ohmiya-sd.spec.ed.jp>

特別支援学校坂戸ろう学園幼稚部 教育相談

電話 049(281)0174 Fax 049(283)9899

Mail sodan@sakado-sd.spec.ed.jp URL <http://www.sakado-sd.spec.ed.jp/>

6 聴覚障害特別支援学校幼稚部における学びに応じた実践事例

平成〇〇年度 幼稚部年間指導計画

【学級名：一般学級（年中）】

	1 学期				2 学期				3 学期			
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各学期の目標	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活の仕方がわかり、できることは自分でやろうとする。 友達や年上の友だちに関心をもち、一緒に遊ぶ楽しさや相手の気持ちを受け入れようとする。 季節の植物や生きものに触れ、関心や愛着をもつ。 											
行事	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 入学式 歓迎会 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会 (4月、5月) 遠足 こどもの日週間 運動会 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会 (6月、7月) ぞりがつり 交流会 (地域の保育園、ななふく苑) 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会 (地域の保育園) 七夕週間 終業式 お泊まり会 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 誕生会 (8月、9月) 野外活動 固定遊具遊び (地域の保育園) 	<ul style="list-style-type: none"> ミニ運動会 やきいも 	<ul style="list-style-type: none"> あゆみ祭 遠足 誕生会 (10月、11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会 (地域の保育園) おたのしみ会 終業式 	<ul style="list-style-type: none"> まめまき週間 誕生会 (2月・3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 もちつき会 誕生会 (12月、1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ひなまつり週間 お別れ会 修了式 	
健康	<ul style="list-style-type: none"> 発育測定 尿検査 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 避難訓練 内科検診 眼科検診 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓検診 学校公開 歯科検診 耳鼻科検診 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 	<ul style="list-style-type: none"> 発育測定 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 胸学入学に関する情報提供及び相談 	<ul style="list-style-type: none"> 背おおべんとう 給食 学校公開 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 シエフ絵画 	<ul style="list-style-type: none"> 発育測定 授業参観 入学相談 	<ul style="list-style-type: none"> 発育測定 授業参観 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 	
遊び	<ul style="list-style-type: none"> どろんこ遊び 集団遊び (ドッジボール、サッカー、かけっこ、サーキット) 水遊び・プール・泡あそび 固定遊具遊び イメージ遊び (季節の行事、遠足にむけて等) 	<ul style="list-style-type: none"> 砂・どろんこ遊び・泡遊び 集団遊び (大縄跳び・ドッジボール・サッカー) 固定遊具遊び イメージ遊び (季節の行事、遠足、あゆみ祭に向けて等) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分経験したことや興味のあることを手話等で伝え、教師や友達とのやりとりを楽しむ。 ひらがなや指文字に興味を持つ。 絵本や図鑑などを自分で見たり、調べたりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然に関する絵本 (野菜、虫、秋、冬) 行事に関する絵本 (運動会、サンタクロース、お月見) ものがたり 	<ul style="list-style-type: none"> 木の実や葉で作る 粘土 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん)
ことば	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びなどを通して、周囲の人の表現を見ながら、様々な表現方法に興味を持つ。 自分の思いや考えを言葉で表現し、友だちの考えを受け入れる。 											
絵本	<ul style="list-style-type: none"> 自然に関する絵本 (野菜、虫、春、夏、雨) 行事に関する絵本 (運動会、山登り、はみがき、からだ) ものがたり 											
製作	<ul style="list-style-type: none"> こいのぼり お別れ会のプレゼント ぬたくり 	<ul style="list-style-type: none"> 母の日のプレゼント 遠足・運動会の絵 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の顔 ざりがにの顔 父の日プレゼント 	<ul style="list-style-type: none"> 七たかざり 	<ul style="list-style-type: none"> 祖父母への手紙の郵送 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> ミニ運動会看板 指先での物作り (糸通し・編み物) リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> 木の葉や葉で作る 粘土 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん) 	<ul style="list-style-type: none"> リース作り 折り紙 リサイクル品で作る (自由作 お店屋さん)
畑	<ul style="list-style-type: none"> 季節野菜の栽培 (そらまめ、たまねぎ、きゅうり、トマト等) 水やり、収穫、調理 											
歌・リズム・ダンス	<ul style="list-style-type: none"> 手話歌 (季節の歌、帰りの会) リズム ダンス 											
散歩	<ul style="list-style-type: none"> 芦山公園 蓮花寺公園 シーソー公園 体壺寺公園 											
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> ことば かず 運動 (身体の使い方、体幹運動遊び等) 絵日記 概念形成 かたち 描画 感覚遊び 											
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> 手話、身振り、口話を楽しく。また、指文字で伝えられることを知る。 自分の好きな遊びや活動を楽しむだけでなく、苦手なことも挑戦しようとする。 											

(2) 聴覚障害特別支援学校の日案例

4歳児（一般学級） 日案

担任 ○○ ○○

○月○日（○曜日）

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じながら、体を思い切り動かして遊ぶ。 (知識・技能の基礎) 自分の考えや思いを表現し、相手に伝わる楽しさや嬉しさを味わう。 (思考力・判断力・表現力の基礎) 準備や片付けなど、生活に必要なことを自ら進んで行う。 (学びに向かう力・人間性等) 		評 価	<p>全員が元気に登校し、自由遊びでは友達を誘い合って、他のクラスの幼児も含めて「こおりおに」を楽しんだ。劇遊びでは、一人一人が台詞や表現方法を考えて発表することができた。友達が表現している時には、楽しそうな表情でよく見ていた。今後は、活動の振り返り発表の内容を豊かにしていけるようにしていきたい。準備や片付けは、友達と一緒に速さを競い合いながら行っている。</p>	
	<p>①自由遊び</p> <p>屋外</p> <p>(健康な心と体、言葉による伝え合い、自然との関わり生命尊重、協同性、豊かな感性と表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定遊具（すべり台、ブランコなど） 砂場 おにごっこ リレーごっこ 落ち葉遊び 築山でそりすべり など 				<p>②学年、学級活動</p> <p>創作劇遊び「三びきのやぎのらがらどん」 (登場人物) やぎ、トロール (内容) お腹を空かせたやぎたちは山へ草を食べに行く。その途中の橋の下には、渡るやぎを食べようとする恐ろしいトロールがいる。やぎはトロールとやりとりをして橋を渡る。(最後のやぎがトロールを倒す。) 最後はみんなが無事に橋を渡りきり、山で草を食べる。 (ねらい) 劇遊びを楽しみ、やぎとトロールとのやりとりの場面を自分なりに考えて表現しよう。(豊かな感性と表現、言葉による伝え合い、思考力)</p>
	<p>室内</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本 リサイクル材料を使った製作 絵を描く ブロックやパズル おままごと どんぐり遊び など 				
					
物的環境の構成					
時間	幼児の活動	教師の指導と支援	配慮事項	指導の関連性	
9:15	<ul style="list-style-type: none"> 登校する。 挨拶をする。 かばんの所持品を所定の場所に置く(水筒 タオル 連絡ファイル 給食着)。 日付を確認し、カレンダーにシールを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> 元気に挨拶を交わす。 所持品を所定の場所に置けるよう個に応じた言葉かけをする。 絵カード等を使い、カレンダーに日付や曜日等のシールが貼れるよう言葉かけをする。(できるだけ一人でシールが貼れるよう個に応じた支援をする。) 	<ul style="list-style-type: none"> 声の大きさや、教室の明るさに配慮する。 保護者から家での様子や体調を聞き、幼児の状態を把握する。 連絡ファイルに目を通し、内容を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自立活動 6区分 ■幼稚園教育要領5領域 ◎幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 ★人間関係の形成 ■人間関係 ◎数量・図形、文字等への関心・感覚 	
9:30	<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びをする(自由遊び)。 	<ul style="list-style-type: none"> やりたい遊びを見つけられるような言葉かけをする。 友達のやっている遊びにも関心を向けたり、ルールを守って遊ぶように支援する。 安全に遊ぶように、個に応じて声をかける。 おにごっこなどのルールのある遊びでは、教師も幼児と一緒に楽しみながら参加し、教師の動きや言葉でルールを確かめられるようにする。 友達とのやりとりの中で、伝え合いが不十分な時や互いの主張がぶつかる時は、一人一人の気持ちを受け止めながら、お互いの思いや考えを表現し伝え合えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の興味・関心を把握する。 固定遊具では、順番を守る、交換するなどのルールを守って遊ぶように支援をする。 ケガのないように安全に気を配る。 おにごっこでは、おにが誰なのか分かるように、お面などを用意しておく。「こおりおに」では、こおっている時のポーズを確認する。) <ul style="list-style-type: none"> 落ち葉や気候の変化にも気づけるような言葉かけを心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ★健康の保持 ★人間関係の形成 ★環境の把握 ★身体の動き ★コミュニケーション ■人間関係 ■健康 ◎健康な心と体 ◎協同性 ◎道徳性・規範意識の芽生え 	

10:50	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びを終わりにして片付けをする。 ●手洗いうがい、水分補給、排泄をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆遊びの時間が終了したことを伝え、遊びに使った物を一緒に片付ける。 ◆手洗いうがいを丁寧にしよう声をかける。 ◆補聴器や人工内耳の状態を確認し、汗でぬれている時は汗を拭きとり、必要に応じて補聴器用乾燥機又は人工内耳用乾燥機に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びに使った物を（写真カードを手掛かりにするなど）所定の場所へ戻すよう声をかける。 ○手を石鹸できれいに洗うよう言葉かけをする。並ぶ順番を守ることの大切さを伝える。 ○衣服の汚れを見て、必要な幼児には着替えるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ★健康の保持 ■健康 ◎社会生活との関わり
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ●朝の会をする。 挨拶、名前呼び、日付、曜日、天気、今日の予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝の会の進行役や話している幼児に注目するように支援する。 ◆名前呼びは、呼名の他に簡単なクイズ（洋服の色、絵柄等）を入れながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イスを馬蹄形にし、お互いを見合えるようにする。 ○教室の明るさに配慮する。 	
11:15	<ul style="list-style-type: none"> ●創作劇遊びをする。 ・絵本の読み聞かせ ・前回の劇遊びの振り返り ・登場人物の確認と役決め ・役のお面をかぶっての劇遊び ・橋（平均台）を渡る時のトルロとのやりとりを考えて発表 ・自分の考えた方法で表現しながら劇遊び ・劇遊びを振り返り、感想やがんばったことの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ◆絵本「三びきのやぎのがらがらどん」の読み聞かせを行う。 ◆前回の幼児の動きや表現で良かった点、面白かった点を伝えながら、劇遊びの内容や流れを確認する。 ◆役決めでは、自分のやりたい役に手を挙げるように伝える。役が重なった時は、どうやって決めたら良いか幼児の考えを聞き相談して決める。（幼児からはじゃんけん、くじ引きが出てくると予想される。） ◆はじめに教師が流れを作り、繰り返しの台詞や動き、表現を楽しみながら、劇あそびができるようにする。 ◆劇の見せ場であるやぎとトルロのやりとりの場面に注目し、どうやったら橋を渡れるかを考えるように促す（食べ物を渡す、じゃんけん、気をそらすなどは出でくると予想される）。出て来ない時には、友達の見解を参考にしたり、普段の遊びの中で使っている物や方法をヒントにしたりして提案する。 ◆劇遊びでは友達の動きや表現もよく見るよう支援する。 ◆一人一人が感想や頑張ったことを発表できるように、一緒に劇遊びを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本は、登場人物の繰り返しのセリフや動き等を一緒に真似しながら楽しく読み進める。 ○役のお面、カード、絵本など場面と登場人物を結びつけながら活動できるようにする。 ○橋に見立てる平均台は、2台並べて幅を広くし渡りやすくする。橋を渡るやぎとトルロとのやりとりを見やすくするために置く位置に気を配る。平均台の下には川に見立てた青いマットを敷き、万が一落ちて大丈夫ようにする。 ○安全に配慮しながら行う。 ○幼児の動きや表現をよく見ながら、必要に応じて教師がモデルとなって、幼児と一緒に行う。 ○お互いが発表を見合い、自分とは別の意見や考えがあることに気づき、知ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★人間関係の形成 ★環境の把握 ★コミュニケーション ■言葉 ■人間関係 ■表現 ◎思考力の芽生え ◎数量・図形、文字等への関心・感覚 ◎言葉による伝え合い ◎豊かな感性と表現
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ●給食の準備をする。 ●給食を食べる。 ●食器などを片付ける。 ●歯みがきをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆手洗い、うがいをしよう声をかける。 ◆幼児が自分でよそえるように、配膳の補助をする。 ◆楽しく食べられるような言葉かけをしながら一緒に食べる。 ◆自分の食器やエプロンやランチョンマットを片付けるよう支援する。 ◆丁寧に歯を磨くように見本を示したり、言葉かけをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○順番を守ることの大切さを伝える。 ○給食のおかずは、必要に応じて刻みバサミで適切な大きさに切る。 ○食材についての話をする等して楽しく食事ができる雰囲気を作る。 ○苦手なものも、友達や教師と励まし合いながら挑戦してみようとする気持ちを育てる。 ○安全に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★健康の保持 ★環境の把握 ■環境 ■健康 ◎健康な心と体
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ●帰りの準備をする。 自分の所持品をかばんに入れる。 ●排泄をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の所持品をかばんに入れるよう支援する。 ◆配布物（お手紙）は二つ折りにしてファイルに入れるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○忘れ物がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★環境の把握 ■環境 ◎数量・図形、文字等への関心・感覚 ◎健康な心と体
13:10	<ul style="list-style-type: none"> ●帰りの会をする。 ・絵本の読み聞かせ ・一日の活動の振り返り ・翌日の予定の確認。 ・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一日の遊びや活動などを振り返り、幼児一人一人が楽しかったことを発表できるようにする。 ◆発表している幼児に注目するよう声をかける。視覚的なカードなどを活用する。 ◆次の日の活動を楽しみにできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イスを馬蹄形にし、お互いを見合えるようにする。 ○教室の明るさに配慮する。 ○翌日の予定を伝えて、期待が持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★人間関係の形成 ■人間関係 ■表現 ◎協同性 ◎言葉による伝え合い
13:30	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者などと下校する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者に子供の一日の様子を伝える。 ◆翌日の活動を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者と成長を共有し合う。 	

※絵本出典：「(ノルウェーの昔話) 三びきのやぎのがらがらどん」(福音館書店) マーシャ・ブラウン絵/瀬田貞二訳

(3) 聴覚障害特別支援学校の指導案例

聴覚障害特別支援学校幼稚部 学級活動（朝の会） 指導案

1 日時・場所 平成〇年〇月〇日 9：15～9：30 幼稚部重複〇〇教室（3，4，5歳児）

2 活動設定の理由

朝の会においては、2学期に入り、一日の始まりに期待感を持っている姿が見られるようになった。次の課題として幼児同士でよりよいコミュニケーションを図り、友達と関わり合おうとする気持ちを育てていきたいと考える。

紙皿シアターは見て変化を楽しみながら、友達との関わりを深められる教材である。一日の始まりである朝の会で友達との関わりについて期待感をもち、友達と自ら関わろうとする気持ちを育てていきたいと考え、本活動を設定した。

※本活動で前提とする幼稚園指導要領5領域の内容に関連する事項

【人間関係】（7）友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。

【言葉】（5）生活の中で必要な言葉が分かり、使う。

3 ねらい

共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をする。（知識・技能の基礎） ・紙皿シアターを見て、意欲的に呼名に応える。（思考力・判断力・表現力の基礎） ・友達や教師と一緒に活動する楽しさや心地よさを感じる。（学びに向かう力・人間性等）
個人目標A 4歳児・重複学級 聴力（右100・左110）	<ul style="list-style-type: none"> ・紙皿シアターを見て、紙皿の変化を想像しながら楽しむ。 （思考力・判断力・表現力の基礎） ・当番の仕事に意欲的に取り組む。（学びに向かう力・人間性等）
個人目標B 3歳児・重複学級 聴力（右95・左90）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を手話でゆっくりと大きく表現する。（知識・技能の基礎） ・友達からの呼びかけなど、友達の動きに視線を向ける。（思考力・判断力・表現力の基礎） ・紙皿シアターに期待感を持ち、注目する。（学びに向かう力・人間性等）
個人目標C 5歳児・重複学級 聴力（右60・左70）	<ul style="list-style-type: none"> ・紙皿シアターに触れたり、近くで見たりすることで、意識することができる。 （学びに向かう力・人間性等） ・自分の顔や友達の顔写真を見て、手を伸ばしたり表情で表したりする。 （思考力・判断力・表現力の基礎）

4 展開

時間	幼児の活動	教師の指導と支援	準備等
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の当番を確認する。 ○当番が前ではじめの挨拶をする。 「おはようございます。これから朝の会をはじめます。」 ○今日の日付を確認する。 ○当番は日付カードと活動カードを友達や教師と確認しながらホワイトボードに貼る。 ○当番は自分の席に戻る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○注目しているか確認して始める。 ○手話をゆっくり大きく表現する。 ○当番に視線が向くよう支援をする。 ○当番の進行を支援する。当番は、カードを友達や教師に示しながらホワイトボードに貼るようにする。 ○今日の活動カードを提示し、一つ一つ丁寧に、いつ、どこで、だれと、なにをするなど、丁寧に説明する。 ○幼児に質問をしたり、確認をしたりする。友達にも視線がいくよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 当番写真カード 当番の言葉カード 日付カード ホワイトボード

5分	<p>○紙皿シアターを見る。 ○紙皿が回転する度に、顔写真が変化することに気が付く。</p> <p>○自分の名前が呼ばれたら手を挙げて返事をしたり、顔を上げたりする。 ○欠席の幼児を全員で呼名する。</p> <p>○当番が終わりの挨拶をする。 「これで朝の会を終わります。」</p>	<p>○紙皿シアターを提示し、幼児同士で始まる期待感が高められるよう支援する。 ○幼児の状況に合わせて、紙皿を目の前に提示したり、手で触れられたりするなど、興味関心が高められるよう支援する。</p> <p>○幼児同士で楽しさを共感し合うよう支援する。 ○欠席の幼児の呼名をする際には、全員で同時に呼べるよう「せーの」と掛け声をする。 ○それぞれ椅子を片付けるように伝える。 <u>※自立活動の内容に関連する事項</u> (3) 人間関係の形成 エ 集団への参加の基礎に関すること。</p>	紙皿シアター
----	---	--	--------

5 評価

(1) 本時の評価

全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の顔写真がある紙皿シアターを楽しく活動することができた。 ・紙皿シアターを幼児が自分から取り組もうとすることができた。
個人評価A	<ul style="list-style-type: none"> ・当番が自分の役割だと分かって活動できた。 ・紙皿シアターは見るだけでなく、動かしてみたいという気持ちを持つことができた。
個人評価B	<ul style="list-style-type: none"> ・紙皿シアターでは、自分や友達の顔写真に注目することができた。 ・当番や教師の呼びかけに応じることができた。
個人評価C	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前に提示された紙皿シアターに注目することができた。 ・紙皿シアターに手を伸ばすことができた。

(2) 次の授業の改善点

全体の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が活動全体の動きに合わせて動けるよう支援をする。
個人の改善点A	<ul style="list-style-type: none"> ・紙皿シアターを自分で動かせるよう支援をする。
個人の改善点B	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に視線が向き、友達の動きに応じられるよう支援をする。
個人の改善点C	<ul style="list-style-type: none"> ・紙皿シアターの動きに注目し、その動きの変化を楽しめるよう支援をする。

※本活動における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連

(9) 言葉による伝え合いを歌う。 先生や友達と心を通わせ、言葉でのやりとりを楽しむ。

1 日時・場所 平成〇年〇月〇日 11:00～11:30 遊戯室

2 活動設定の理由

日常生活で使う簡単な手話を覚えられるように手遊び歌などで楽しく活動している。今後は、友達同士での言葉でのやりとりにつなげていけるようにしていきたいと考えている。また、日本語にリズムがあるのと同じように、手話にも指を揺らしたり止めたり、振る回数を意識したりするなどのリズムがある。速く、またはゆっくり表したり、友達と合わせたりするなどして、体全体でリズムを感じて表現することの楽しさを味わってほしいと考える。自分が表現して伝えることだけではなく、友達の表現している様子を見ることにも関心を持ってほしいと考え、本活動を設定した。

※本活動で前提とする幼稚園指導要領5領域の内容に関連する事項

【表現】(8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

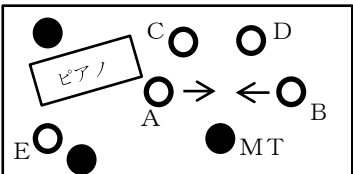
【言葉】(8) いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。


【人間関係】(7) 友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。

3 ねらい

共通目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で使用する簡単な手話表現を知る。(知識・技能の基礎) 表現することの楽しさを知る。(思考力・判断力・表現力の基礎) 意欲的に体を動かし、友達と一緒に活動する楽しさを味わう。(学びに向かう力・人間性等)
個人目標A 4歳児・重複学級 聴力(右100左90)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の手の形をよく見て、細かく模倣する。(知識・技能の基礎) 友達や教師の表現方法を見て、いろいろな表現のイメージを膨らませる。(思考力・判断力・表現力の基礎)
個人目標B 5歳児・重複学級 人工内耳	<ul style="list-style-type: none"> 生き物の絵カードを見て、自分なりのイメージで身体を動かす。(思考力・判断力・表現力の基礎) 友達と共にフープを持ち、一緒に活動する楽しさを味わう。(学びに向かう力・人間性等)
個人目標C 4歳児・重複学級 聴力(右95左90)	<ul style="list-style-type: none"> 動物になりきり、身体を大きく動かして表現する。(思考力・判断力・表現力の基礎) 自分から意欲的に友達と関わり、一緒に活動する楽しさを味わう。(学びに向かう力・人間性等)
個人目標D 5歳児・重複学級 聴力(右50左60)	<ul style="list-style-type: none"> 歌やリズムに合わせて、手話や身振りで表現する。(知識・技能の基礎) 友達の表現に興味を持ち、動きのイメージを膨らませる。(思考力・判断力・表現力の基礎)
個人目標E 5歳児・重複学級 人工内耳	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや友達の動きを見て、イメージを膨らませ、身体を動かす。(思考力・判断力・表現力の基礎) 友達の様子や活動に興味を持ち、参加しようとする。(学びに向かう力・人間性等)

4 展開

時間	幼児の活動	教師の指導と支援	準備等
	<ul style="list-style-type: none"> ○「握手でこんにちは」の歌に合わせた表現をする。 ○日常で使用する簡単な手話を知る。 ○友達と向き合い、お話しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に行動することを意識できるよう支援する。 ○手話が理解できるよう、見本ではゆっくり手を動かす。 <p>※自立活動の内容に関する事項</p> <p>(6) コミュニケーション ア コミュニケーションの基礎的能力に関すること。</p>	

10分	○「いきものになろう！」のリトミックをする。 例※ぞう『ドーン、ドーン（ゆっくり2本足で歩き、腕をふる）』 くま『ドン、ウン、ドン、ウン（4本足で休みながら歩く）』 かに『タンタンタンタン（横向きで片足ずつ出しながら歩く）』 かえる『タタン、タタン（両手両足を使いかえる跳びをする）』 どんぐり『トトトトトト（両腕を伸ばして寝転がり横回転する）』	○手話表現だけでの理解が難しい幼児には、絵カードに注目できるよう声かけをする。 ○見本では、大きく身体を動かして表現し、幼児のイメージを引き出すよう支援する。 ○幼児が自由に表現できることを大切に支援をする。	
5分	○「ぐるぐる まわれ」の歌に合わせて友達と一緒に動く。 ○歌い終わりは電気を消して暗くする合図で、みんなで一緒に床に寝る。	○友達と一緒にフラフープをもち、友達と動きを合わせて回るよう支援する。 <u>※自立活動の内容に関する事項</u> 3 人間関係の形成 (4) 集団への参加の基礎に関すること。	
	○終わりの挨拶をする。	○楽しく活動できたことを振り返る。それぞれの幼児の良かった点を褒める。	

5 評価の観点

(1) 本時の評価

全体評価	音の振動や光の点滅を合図に、曲のリズムに合わせて動くことができた。生き物の表現や手遊び歌は、自分から意欲的に取り組む姿が見られた。繰り返し行っている活動であるため、見通しがもて、友達と一緒に楽しい雰囲気の中で取り組めるようになってきた。
個人評価A	教師の手の形に注目し、自分から進んで手話表現をすることができた。友達の表現する様子に注目し、いろいろな表現方法を考えることができた。
個人評価B	絵カードからイメージを膨らませ、自分なりの表現で楽しく体を動かすことができた。友達と一緒にフープを持ち、一緒に活動する楽しさを味わうことができた。
個人評価C	動物の表現では、それぞれの特徴をよくつかみながら動物に成りきって体を動かしていた。フラフープを使っでの活動では、友達の動きに合わせて速さを調節しながら回る姿が見られた。すべての活動に集中して参加することができた。
個人評価D	手遊びが始まると、歌に合わせて自分から表現を楽しむ姿が見られた。手の位置や向きなど、意欲的に模倣をしようとしており、リズムに合わせて取り組むことができた。
個人評価E	好きな活動（リトミック、ぐるぐるまわれ）では、自分から参加しようとする姿が見られた。少し離れた場所からではあったが、友達の様子に注目し、楽しんで体を動かすことができた。

(2) 次の授業の改善点

全体の改善点	幼児がいろいろな表現方法で楽しく参加できるように、一人一人が発表できる場を設けるなど、幼児の表現やなりきった時の気持ちを全体にフィードバックする時間を作る。
個人の改善点A	よりイメージが豊かになるように、言葉かけを工夫していく。
個人の改善点B	興味・関心を引き出し、表現することへの意欲につなげるために楽しい活動を積み重ねていく。
個人の改善点C	次の課題として手話の模倣を教師と一緒に確認しながらできるようにする。
個人の改善点D	楽しんで活動に参加できているため、友達の動きに注目するよう支援をする。
個人の改善点E	見通しをもって安心して活動に参加できるよう絵カードなどを有効に活用する。また、好きな活動を取り入れ、活躍できる場面を作る。

※本活動における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連

(9) 言葉による伝え合い 簡単な手話表現による、友達とのやりとりや表現を楽しむ。

(10) 豊かな感性と表現 いろいろな方法で表現することの喜びを知る。

1 日時・場所 平成〇年〇月〇日 11:30～12:00 幼稚部〇年教室

2 活動設定の理由

本学級は、自分の気持ちを伝えたいという意欲の高い幼児が多く、幼児同士で関わり合うことを楽しんでいる。体験活動においては、幼児同士で関わり合いながら、自分なりの工夫を交えて遊ぶような姿が見られる。本学級は、読み聞かせを日常的に行っており、絵本に興味・関心をもつ幼児が多い。

本時は、幼児の多くが楽しみにしている遠足を題材とし、興味・関心が高い絵本を取り入れることにより、自分の気持ちを伝えたいという意欲や、幼児同士で関わり合うような力をさらに伸ばしていきたいと考えている。

※本活動で前提とする幼稚園指導要領5領域の内容に関連する事項

【人間関係】(5) 友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。

3 本時の目標

共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の内容を知る。(知識・技能の基礎) ・登場する動物になりきって、友達や教師とのやりとりを楽しむ。(思考力・判断力・表現力の基礎)
個人目標A 3歳児 聴力(右118左105)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の内容を理解することができる。(知識・技能の基礎) ・活動の流れに沿って友達や教師と一緒に楽しむことができる。(学びに向かう力・人間性等)
個人目標B 3歳児 聴力(右132左92)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の内容や登場人物を理解することができる。(知識・技能の基礎) ・順番を守るなど、友達の動きに合わせてながら活動を楽しむことができる。(思考力・判断力・表現力の基礎)
個人目標C 3歳児 聴力(右117左124)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の内容や登場人物を理解することができる。(知識・技能の基礎) ・絵本に登場する動物を自分で選び、友達や教師とのやりとりを楽しむことができる。(思考力・判断力・表現力の基礎)

4 展開

時間	幼児の活動	教師の指導と支援	準備等
3分	○集まって挨拶をする。	○興味・関心もてるよう遠足の写真を示す。	
10分	○絵本の読み聞かせ	○幼児が絵本の見える位置に座るよう言葉かけをする。 ○幼児と対話しながら絵本を読み進める。	絵本 「うしちゃん えんそく わくわく」
15分	○遠足ごっこ シート滑り、ボール投げ、なわとび	○安全に配慮をしながら遊具を配置する。 ○幼児一人一人の理解状況に応じてそれぞれの用具の扱い方の見本を示す。 ○一人ずつ活動し、待っている幼児には、他の幼児の活動に注目するよう言葉かけをする。 ※自立活動内容に関連する事項 (3) 人間関係の形成 エ 集団への参加の基礎に関すること。	・シート ・ボール ・かご ・なわとび
2分	○集まって挨拶をする。	○次の日も同じ活動をするを伝え、次回も期待感もてるような呼びかけをする。	

5 評価の観点

(1) 本時の評価

全体の評価	<ul style="list-style-type: none">・登場する人や動物の動きや、物語全体の流れを理解することができた。・友達や教師と一緒に楽しんで活動することができた。
個人評価A	<ul style="list-style-type: none">・絵本の内容を部分的に理解することができた。・友達や教師の動きに合わせてながら自分がやりたいを活動を楽しむことができた。
個人評価B	<ul style="list-style-type: none">・絵本の内容を概ね理解することができた。・友達や教師の動きに合わせてながら、順番を守って活動を楽しむことができた。
個人評価C	<ul style="list-style-type: none">・絵本の内容を絵や手話を交えながら概ね理解することができた。・登場する動物を自分で選び、動物になりきり、友達や教師とのやりとりを楽しむことができた。

(2) 次の授業の改善点

全体の改善点	<ul style="list-style-type: none">・幼児が主体的に活動できるよう支援する。
個人の改善点A	<ul style="list-style-type: none">・各々の活動の中で、回数を決めて終わりが分かるようにする。
個人の改善点B	<ul style="list-style-type: none">・各々の活動に見通しが持てるようゆっくりと扱い方を示して理解できるようにする。
個人の改善点C	<ul style="list-style-type: none">・絵本の登場人物が誰だったか、活動後の気持ちを確認する。

※本活動における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連

- (1) 健康な心と体 体験活動（シーツ滑り、ボール投げ、なわとび）
(9) 言葉による伝え合い 絵本「うしちゃん えんそく わくわく」の読み聞かせ

埼玉県特別支援教育教育課程編成要領「特別支援学校編幼稚園」改訂協力委員名簿

【特別支援学校塙保己一学園】

佐野 貴仁 校長
遠山 ミエ子 教諭
山越 周子 教諭
松居 綾子 教諭

【特別支援学校大宮ろう学園】

伊藤 えつ子 校長
佐藤 理恵子 教諭
中村 由佳 教諭
小林 翼 教諭

【特別支援学校坂戸ろう学園】

阿部 裕子 教諭
後藤 かおり 教諭
西村 和幸 教諭

【特別支援教育課】

金子 功 課長
小林 直紀 主幹兼主任指導主事
橋本 晋一 主任指導主事
島宗 徹 指導主事